

1. 特集・シリーズ

月・頁

<不正競争防止法>

1. 不正競争防止法の改正 ドメイン名の不正取得等について
大島 厚 1-5
2. 営業秘密について
苗村博子・重富貴光 1-13
3. 不正競争防止法による意匠権の権利の制限に関する一考察
中村彰吾 1-23

<ソフトウェア・ビジネスモデル>

1. ソフトウェア関連発明の保護に関する現行特許法の問題点
ソフトウェア委員会(第1部会) 2-4(3-98)
2. ソフトウェア特許の出願に関する実務的雑感
的場成夫 2-17
3. コンピュータ・プログラム関連発明に関するドイツ最高裁判所判決
「ロジック検証法」事件 小野康英・原田一男・牛久健司2-21
4. 婚礼引き出物の贈呈方法特許と特許法の保護対象
帖佐 隆2-31
- <知的財産の評価>
1. 会計手法からみた知的財産法上の損害賠償額を算定した
判例研究(その3) 須田孝一郎 2-42
2. 単純方法の概念とその特許権侵害行為に対する損害賠償額
清水尚人 2-53
3. 計算鑑定人制度と知的財産の評価
牛島正晴 2-61
4. 特許権の財産的価値
富田幸春 2-69

<特許権の効力>

1. 使い捨て特許製品を再利用する行為に特許権の効力が及ぶか
来栖和則 3-3
2. 消尽論に関する CAFC 判決: Jazz v. ITC
今泉俊克 3-10
3. 先願優位と後願劣位(1)
田辺 徹 3-13
4. 空権容認説(新自由技術除外説)について
- キルビー特許最高裁判決に因んで -
佐藤富徳 3-19

<米国特許法入門>

1. 座談会 米国特許出願手続について 西島孝喜・寺本恵子・
相川俊彦・正林真之・保立浩一・伊藤孝美 4-3(5-90)
2. 米国民事訴訟法入門の為の予備知識・続編
- 日本民法の法領域の法律は米国ではどうなっているか、前編への質問
に対する回答など -
藤芳寛治 4-21
3. 米国現行法におけるバイオテクノロジー及び化学工業分野の特
許出願手続き上の有利な戦略 S. パンデ・M.J. グッターク・
S.T. プレウィット 訳 石野園子・大野 孝 4-31

<第9回知的所有権誌上研究発表会 研究発表の部・質疑
応答の部>

- 第9回知的所有権誌上研究発表会開催に当たって 羽村行弘 5-3
1. 米国特許法の域外適用 - 特許権の新たな効力「販売の申し出」が与
える影響の考察 -
鎌田健司 5-4
2. 改正特許法で情報であるコンピュータ・プログラム等それ自体
を保護対象とする衝撃・影響 - 本格的な情報保護法としての特許法
への幕開けか? -
加藤公延 5-12, 8-3
3. プロダクト・バイ・プロセス・クレームの権利解釈 南条雅裕 5-21
4. 特許侵害訴訟における権利濫用の抗弁 呉 圭煥 5-29, 8-13
5. 職務発明制度の立法論と問題点 帖佐 隆 5-37, 8-21
6. 消尽論の根拠とその成立範囲に関する序論的考察 林 秀弥 5-45

7. 大規模アプリケーションシステムにおける特許の実施率率について
千保卓也・金田重郎 5-51

8. 数値限定・変更と臨界的意義
穂積 忠 5-60
- <契約>

1. 契約代理人の心構え 山上和則 7-3
2. 特許実施権許諾条項のドラフティングに関する一考察
浅井敏雄 7-13
3. 魅力のある契約にするための工夫 加藤貞晴 7-22
4. 秘密保持契約に手続き条項を加える提言と、弁理士ならではの
秘密保持契約へのかかわり方
小林生央 7-25

<著作権>

1. ソフトウェアプログラムと著作権に関する判決解説(1)
ソフトウェア委員会 9-5
2. 著作権侵害に対する損害賠償請求における依拠の要件と故意・
過失の内容
中村彰吾 9-21
3. COPYRIGHT LAW PRIMER <1> 著作権法の誕生と基本原理
飯田幸郷 9-30

<最近の動向>

1. システム特許権侵害上の問題点の今日・明日
- 特にビジネス方法特許侵害を中心に概観 -
- 平成14年改正特許法にも言及して -
寒河江孝允 10-3
2. ソフトウェアプログラムと著作権に関する判決解説(2)
ソフトウェア委員会 10-11
3. 特許権の国内用尽について(アシクロビル事件を通して)考える
倉内義朗 10-29

<改正法と実務>

1. 発明の実施行為規定の改正がビジネス関連発明の実務に与える
影響について
塩野谷英城 11-3
2. 先行技術文献開示制度についての一考察 山本 尚 11-7
3. 間接侵害規定の改正 永井義久 11-13
4. PCT 国際出願の国内段階への移行について 宍戸嘉一 11-19
5. 「標章の使用行為がインターネットを通じた役務の提供やイン
ターネットでの標章の表示まで拡大されるのに伴い、商標の実
務はどのように変化するか?」について
押本泰彦 11-25

<職務発明>

1. インタビュー 職務発明制度 紋谷暢男 12-13
2. 続・職務発明制度の立法論と問題点 帖佐 隆 12-25

<外国>

1. 日本特許法の間接侵害規定の改正ならびに米国および独国の関
連規定との比較 来栖和則 12-37
2. 米国における均等論 - Festo 事件を中心に - 泉 克文 12-49
3. キメラ動物に関するヨーロッパ特許異議事件 (EP0322240) -
ヨーロッパ特許条約 (EPC) 53条(a)の公序良俗に関する議論 -
古谷栄男・河本一行 12-61

<知っておきたい主要判決>

27. 「製パン器」事件他 特許権侵害差止等請求事件
(輸出と間接侵害の成否) 大阪地判 H8(ワ)12109号 H12.10.24・
H10(ワ)12875号 H12.12.21 松浦康治・黒河内明子 2-83

28. 「アシクロビル」事件 特許権の国内用尽に関する判決	
東京地裁 H11(ワ)27944号 H13.1.18 損害賠償請求事件	
東京高裁 H13(ホ)959号 H13.11.29 損害賠償請求控訴事件	
	倉内義朗 6-44
29. 「スターデジオ」事件 著作隣接権侵害差止請求事件	
東京地判 H10(ワ)17018号 H12.5.16 松浦康治・黒河内明子	7-69
< 判決要約 >	1-82,2-89,3-87,4-81,5-84, 6-76(7-76), 7-73,8-76,9-77,10-80,11-80,12-85
判決要約目録 (2001年掲載分)	3-92

2 . 講演・対談・座談会・インタビュー

< 会員インタビュー >

1. 自分にしかできないことを追求する	龍華明裕 1-36
2. バイオテクノロジー分野のトップを走りつづける	泉谷玲子 2-38
3. ビジネスモデル特許からグローバル化へ	恩田 誠 3-26
4. 人のやらないことに独自の手法で挑戦する	来栖和則 4-36
5. 地方都市における、弁理士業務の多様性	内野美洋 6-58
6. 人との出会いを大切に地方で独立	須田英一 7-30
7. 日米の違いがあるから 2 倍楽しい	日野真美 8-26

3 . 特許・実用新案

医療方法の特許主題性(2)	佐藤祐介 3-31
バーチャルスクリーニング発明の特許性 - 自然法則の利用における 重層性の視点からの一考察 -	橋本一憲 4-40
先願優位と後願劣位(2)	田辺 徹 4-62
特許法・実用新案法間の基本的枠組に関する考察(1)(2)	
実用新案法の保護対象を「物品の形状、構造又は組合せに係る考案」から「物に係る考案」に拡大するとともに、ビジネスモデル特許等の現実に直面している問題に柔軟に対応できる、昭和34年改正時に代わる21世紀における新たな特許法・実用新案法間の基本的枠組を築き上げていく	上田育弘 6-47,7-41
職務発明における対価の算定・消滅時効の起算点について(1)(2)	
- ピックアップ装置事件 -	吉田広志 7-53,8-55
明細書再考 - 均等論/機能的記載を考慮して -	保科敏夫 9-41
フェスト事件の最高裁判決に見る米国における均等論	
- 均等論に関するわが国判決との比較 -	来栖和則 9-45
「新規事項」は新規事項?	梅辻幹男 9-61
ビジネスモデル特許と特許要件	稲生秀俊 11-29
平成14年特許法改正および関連事項の解説	
	ソフトウエア委員会 11-51
分割出願及び変更出願の補正・訂正の基準明細書	高瀬瀨平 11-67

4 . 意 匠

欧州における新しい意匠制度 - 物品の意匠から製品の意匠への大転換 -	
	青木博通 5-69
部分意匠の本質(4)	田中 大 8-65

5 . 商 標

いわゆる「地模様」の商標登録性と「商標」の定義	
- エピライン東京高裁判決に見るトレード・ドレスの保護 -	
	鳥羽みさを 3-51

商標の機能とグローバリゼーション - 「商標法」における「需要者の保護」が意味するもの -	鳥羽みさを 7-34
商標実務の研究	浅野勝美 10-57
昨今のブランド論について	照嶋美智子 12-75

6 . 外国・国際関係

特許翻訳文改良のためのパラグラフライティング(4)	
	川島俊男 1-55(2-94)
特許英語通信文と英文明細書作成へのガイド(6)(7)	
	藤芳寛治 1-69,3-61
Art.87(1)「優先権」における「同一の発明」の要件に関する欧州特許庁拡大審判部の意見の翻訳	
2001年5月31日審決 Case Number: G 0002/98	岩橋赳夫 3-39
マレーシア調査団報告書	海外協力委員会 3-67
“外内”出願業務のための英語通信文モデル	山元俊仁 4-57
第2次改正中華人民共和国商標法(1)(2)(3)(4)	
	咎 文静, 監修 高石 郷 4-71,8-48,9-69,11-63
私の英語学習法 - 和文直訳を排し意味から起こす英語 -	木村進一 7-61
中国技術輸出入管理条例の改正についての問答	魏 啓学 10-45

7 . 審判・訴訟・紛争・仲裁

裁判員制度と特許裁判	滝田清暉 10-41
調停・仲裁の利用状況について No.3	2-表2
JP ドメイン名紛争処理申立について No.4	3-表2
調停・仲裁を利用するのにいくらかかるの?	10-表2
調停・仲裁の実際 No.2	11-表2
紛争解決は当事者自らの手で No.3	12-表2

8 . 不正競争防止法・著作権法他

漫画キャラクターの著作権保護(2)(3)	
- キャラクター権の確立への模索 -	牛木理一 1-47,2-75
インターネット環境と著作権の権利行使を巡る諸問題 - WIPO 専門家 会合における議論 - 平成13年度著作権委員会	小西 恵 6-63
COPYRIGHT LAW PRIMER(2) 平安時代からアメリカ独立まで	飯田幸郷 12-71

9 . 知的財産権流通

知的財産制の経済的評価	中川博満 4-47
競争戦略理論にみる知的財産戦略	秋山 敦 9-33

10 . 特許情報

高度情報通信ネットワーク社会と知的財産権の相互インパクト	
	佐成重範 9-53
産業構造審議会知的財産政策部会について	8-表2

11 . 弁理士

< 今月のことば >	
常議員会ストロール	高橋三雄 2-1
司法制度改革と弁理士	筒井大和 3-1
大河の流れのように	下坂スミ子 5-1
プロボノ活動	飯田昭夫 6-1
知的財産戦略大綱やぶにらみ	河野登夫 7-1
弁理士倫理	村田 実 8-1

もっとスマートに解決してみませんか？	矢崎和彦	9-1
弁理士は一人一人が広報委員	伊藤高英	10-1
弁理士と裁判所調査官	栞原史生	11-1
フェアプレイ精神と文化の差	渡邊一平	12-1
叙勲者の横顔	友松英爾・橋本 剛・安達 功・高橋功一・ 平岩賢三・船山 武・草野浩一・井上 昭・ 右田登志男・谷津二郎	6-3
	辰巳和男・小花弘路・加藤幸則・石井康夫・ 小宮雄造・南 重之・渡辺秀夫・添田全一・ 中村壽夫・野萩 守・佐々木功	12-3
褒章受章者の横顔	今井義博・八嶽 昇・藤本 昇・亀井弘勝・ 菊池武胤・土橋 皓・吉田研二・垣内 勇・ 倉内義朗	6-7
	田村公總・小林 泰・畑岸義夫・植木久一・ 内藤嘉昭・日比谷征彦・小林 保・森廣三郎	12-8

< 正副会長の活動状況 >

防災会議における防災策策定の進捗状況について	中村茂信	1-76
知的財産に関する最近の重要な動き	笹島富二雄	2-80
本年度の財務関係，常議員会，研修所等	川久保新一	3-85
平成14年度正副会長会 始動	栞原史生	5-89
もっと光を	河野登夫	6-72
フォーラムに愛の手を！	矢崎和彦	7-12
国際活動を担当して	渡邊一平	8-12
研修トピックス	伊藤高英	9-76
文部科学省との新たな関係	飯田昭夫	10-75
近況報告	村田 実	11-62
新弁理士会館プロジェクト	河野登夫	12-74
< 正副会長の1日 >		1-46, 2-88, 3-59

< 私の目指す弁理士像 >

54. 平野竜男	2-82	55. 山田 強	3-30	56. 片岡忠彦	4-30
57. 岩永勇二	5-44	58. 林 一好	6-24	59. 野村茂樹	7-29
60. 渡邊 聡	8-44	61. 渡邊昭彦	9-40	62. 筒井章子	10-56
63. 山本典弘	11-50	64. 森 俊秀	12-60		
プロパテントから見た新弁理士制度		川北武長	1-29		
弁理士法第31条		増田竹夫	1-40		
平成13年度弁理士試験必須科目 問題とその傾向		正林真之	1-78		
会長声明			5-表2		
弁理士の鑑定を得て行なった警告等における過失の有無が争点 となった判例の概観		肥田正法	6-12		
最近の審決取消訴訟における進歩性判断の傾向（機械分野）		渡部 温	6-25		
会務活動における不法行為 - 弁理士法第73条についての検討 -		増田竹夫	8-33(9-80, 11-49)		
弁理士の法律上の義務		増田竹夫	11-37		
平成14年度弁理士試験合格発表			12-80		

12. 挨拶

年頭所感	会長 小池 晃	1-2
年頭所感	特許庁長官 及川耕造	1-3
就任のご挨拶 魅力ある弁理士制度を求めて	会長 笹島富二雄	4-1
平成14年度正副会長会		4-2
就任のご挨拶	特許庁長官 太田信一郎	9-3

13. 随想・サイエンス・その他

< 随 想 >

私が関与した特許行政の思い出(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)

- 私の提案を含めて -

江夏 弘	3-81, 4-77, 5-80, 6-73, 9-73, 10-77, 11-76, 12-81
前田利家の史跡を訪ねてハイキング	三宅正夫 4-80
< 上昇気流 >	
弁理士というネーミングの由来	浅野勝美 1-74
米国憲法に規定された発明者の独占権	野中克彦 2-51
審査実務研修を受講して	河野英仁 2-51
学生，院生の特許実務研修 - 所長，学生のインターンシップ報告 -	鈴木正剛 3-49
東知研について	浅野勝美 5-78
弁理士と英語	照嶋美智子 8-30
< ティー・ブレイク >	
69. 電気街散策	1-68
70. 特許制度の根元や如何に	2-74
71. 運動のし過ぎに注意しましょう	3-60
72. さくら	4-20
73. 我が家の建て替え	5-68
74. 宝探し	6-62
75. 肩こりとの付き合い	7-52
76. 成功の秘訣	8-20
77. 人間を見ること	9-60
78. 歯医者と弁理士	10-40
79. 釣り堀メランコリー	11-24
80. 日露戦再考	12-70
巻頭写真「大漁旗(網代港)」	井澤 洵 1-1
技術士とは何か	渡部厚夫 8-45

14. お知らせ

< 書籍紹介 >

『判例に学ぶ特許実務マニュアル』第3版	山内康伸著	秋山重夫 1-22
『解説されたゲノム情報をどう活かすか』	村松正美監修	岡田希子 2-50
『著作権法概説』第2版	田村善之 著	吉田広志 3-38
弁理士が提供する実務力向上のための特許セミナー		1-表2
「知的所有権(著作権)登録」について当会勝訴の判決		1-28
知的所有権(著作権)登録を巡る控訴審，当会勝訴		6-43
「知的所有権(著作権)登録」を巡る民事訴訟 豊沢氏等の敗訴が確定		7-表2
「工業所有権法規沿革」	・ 巻発行	1-67, 2-3, 3-101, 4-86, 5-91, 6-46, 7-68, 8-32, 9-32, 10-10, 11-6
及川特許庁長官特別講演会報告		2-60
日本知的財産仲裁センター第4回シンポジウム		
「知的紛争とADR - 現状と将来」		2-95
中華人民共和国国家知的財産局と協議		3-84
シンポジウム開催「知的財産と産業活性化」特許庁		3-表3
ユニセフ募金の報告		4-表2
全国一斉無料特許相談会開催		5-91, 6-81
「弁理士の日」記念シンポジウム		6-表2
弁理士の日記念フェスタ(名古屋)		6-表3

2002年 パテント

Vol.55, No.1~12

著者編者名索引

ア行 月-頁

相川俊彦 4-3
青木博通 5-69
秋山 敦 9-33
秋山重夫 1-22
浅井敏雄 7-13
浅野勝美 1-74,5-78,10-57
朝日奈宗太 2-93
安達 功 6-3
飯田昭夫 4-2,6-1,10-75
飯田伸行 3-67
飯田幸郷 9-30,12-71
石井敦史 3-49
石野園子 4-31
石野良純 4-34
泉 克文 12-49
和泉順一 2-89,4-85,8-78,11-80
泉谷玲子 2-38
伊藤高英 4-2,9-76,10-1
伊藤孝美 1-36,4-3,6-58
伊藤文彦 3-91,4-83,5-84,6-79,8-76,9-77,11-83
井上 昭 6-5
井上 一 3-75
稻生秀俊 11-29
今井 彰 9-7,14,10-18
今井義博 6-7
今泉俊克 3-10
岩永勇二 5-44
岩橋赳夫 3-39
上杉 浩 3-70
上田育弘 6-47,7-41
牛木 護 3-69,79
牛木理一 1-47,2-75
牛久健司 2-21
牛島正晴 2-61
内野美洋 2-92,4-81,6-58,10-82
梅辻幹男 9-61
江夏 弘 3-81,4-77,5-80,6-73,9-73,10-77,11-76,12-81
及川耕造 1-3
大川洋一 9-8,18,10-16

大島 厚 1-5
太田明男 3-87,4-81,8-80
太田信一郎 9-3
大竹正悟 12-13
大野 孝 4-31
大橋良輔 8-21
岡田希子 2-50,3-26,7-30,8-26
岡田淳平 1-83,5-88,8-77,11-84
岡戸昭佳 6-78,8-76,10-81
小川英宣 9-8,20,10-19,23
押本泰彦 11-25
小野康英 2-21
恩田 誠 3-26

カ行

垣内 勇 6-11
片岡忠彦 4-30
加藤恵美子 12-13
加藤公延 5-12,8-3
加藤貞晴 6-76,7-22
加藤恒久 4-84,7-73
加藤 誠 3-88,10-82
加藤光宏 9-5,13,10-16,25,26
金田重郎 5-51
鎌田健司 5-4
亀井弘勝 6-9
川北武長 1-29
川久保新一 3-85
川崎実夫 9-9,15,10-14
川島俊男 1-55
川島利和 4-82,11-80
河本一行 12-61
神田藤博 3-80
菊池武胤 6-9
北村周彦 9-9,20,10-22
木村進一 7-61
草野浩一 6-5
窪田英一郎 3-89,10-83,11-82
功力妙子 3-78
倉内義朗 6-11,44,10-29
来栖和則 3-3,4-36,9-45,12-37

黒河内明子 2-83,7-69
柴原史生 4-2,5-89,11-1
小池 晃 1-2,28,3-84
河野英仁 2-51
河野登夫 4-2,6-72,7-1,12-74
小西 恵 6-63
小西富雅 1-82,3-87,7-75,11-81
小橋川洋二 4-83
小林生央 7-25

サ行

寒河江孝允 10-3
笹島富二雄 2-80,4-1,2,5-表2,6-43
佐藤富徳 3-19
佐藤祐介 3-31
真田修治 10-表2,11-表2
佐成重範 9-53
塩野谷英城 9-10,16,10-11,27,11-3
重富貴光 1-13
穴戸嘉一 11-19
篠原一美 2-38,4-36
柴田茂夫 10-81
清水尚人 2-53
下坂スミ子 4-2,5-1
下田 昭 2-90,4-82,9-78
正林真之 1-79,4-3,12-13
信太明夫 3-90,5-85,86
末吉央明 3-49
鈴木正剛 3-49
須田英一 7-30
須田孝一郎 2-42
千保卓也 5-51
曾々木太郎 5-84,8-79

タ行

高石 郷 4-71,8-48,9-69,11-63
高瀬彌平 11-67
高橋功一 6-4
高橋三雄 2-1
滝田清暉 10-41
竹山宏明 9-6,14,19,10-15,22,24

田中 大 8-65
田中秀樹 1-83
田辺 徹 3-13,4-62
谷津二郎 6-6
玉真正美 2-表2,3-表2
千葉智宏 8-8
中馬典嗣 4-84,11-81
帖佐 隆 2-31,5-37,8-21,12-25
筒井章子 10-56
筒井大和 3-1
寺本恵子 4-3
照嶋美智子 8-30,12-75
土井稔清 9-79,10-80
鳥羽みさを 3-51,7-34
土橋 皓 6-10
富澤 孝 1-82
富田幸春 2-69
友松英爾 6-3

ナ行

永井冬紀 9-11,10-12
永井義久 11-13
中川博満 4-47
永田義人 9-13,18,10-13,18,21
中村茂信 1-76
中村彰吾 1-23,9-21
中山健一 3-78
苗村博子 1-13
南条雅裕 5-21
西島孝喜 4-3
西山文俊 9-16,17,10-17,24
沼形義彰 3-76
野中克彦 2-51
野中誠一 1-84,2-94,5-85,7-74,9-77,11-83
野村茂樹 7-29

ハ行

箱田 篤 3-76
橋本 薫 9-12,17,10-14,20,21,28
橋本一憲 4-40
橋本 剛 6-3

八田幹雄	3-70	保立浩一	4-3	紋谷暢男	12-13	渡邊一平	4-2, 8-12, 12-1
羽村行弘	5-3	穂積 忠	5-60	ヤ・ラ・ワ 行		渡邊 聡	8-44
林 一好	6-24	マ 行		八鍬 昇	6-7	外 国	
林 秀弥	5-45	前田厚司	3-73, 7-78	矢崎和彦	4-2, 7-12, 9-1	磐 文 静	4-71, 8-48, 9-69, 11-63
原田一男	2-21, 9-9, 18, 10-13, 23	前田和男	2-93, 5-88, 6-76, 7-73	山内康伸	2-90, 91, 6-77, 8-78	魏 啓学	10-45
肥田正法	6-12	前田 均	3-88, 5-86, 8-79	山上和則	7-3	呉 圭煥	5-29, 8-13
日野真美	8-26	牧 哲郎	4-85, 5-87, 7-74	山口栄一	3-91, 5-87, 6-77, 7-75, 76, 9-78, 80, 10-80, 83, 11-84	M.J.グッターク	4-31
平岩賢三	6-4	増田竹夫	1-40, 8-33, 11-37	山田 強	3-30	S.パンデ	4-31
平野竜男	2-82	松井宏記	2-91, 92, 6-78	山元俊仁	4-57	S.T.プレウィット	4-31
深瀬圭子	7-30	松浦康治	2-83, 7-69	山本典弘	11-50, 12-13	委員会・団体	
藤井久子	1-36, 2-38, 3-26, 4-36, 8-26	松尾憲一郎	2-92, 4-81, 10-82	山本 尚	3-89, 90, 6-80, 11-7, 82	海外協力委員会	3-67
藤田雅彦	3-77	松田正道	9-5, 10-28	湯澤哲夫	8-3	司法制度対策委員会	3-1
藤本 昇	6-8	的場成夫	2-17	吉田研二	6-10	常議員会	2-1
藤芳寛治	1-69, 3-61, 4-21	右田登志男	6-6	吉田広志	3-38, 7-53, 8-55	ソフトウェア委員会	2-4, 9-5, 10-11, 11-51
布施行夫	9-6, 19, 10-15, 27	三宅正夫	4-80	龍華明裕	1-36	仲裁センター	2-表2, 3-表2
船山 武	6-4	村田 実	4-2, 8-1, 11-62	渡部 温	6-25	著作権委員会	6-63
古谷栄男	12-61	村林隆一	8-13	渡邊昭彦	9-40	特許庁	8-表2
保科敏夫	9-41	森熊太郎	6-58	渡部厚夫	8-45		
星野 昇	2-89, 8-77, 9-79	森 俊秀	12-60				

From Editors

編集後記

今月は職務発明と外国にスポットを当ててみました。この中でも昨今様々なメディアを通じて職務発明制度のこれからが議論されています。紋谷先生のお考えは、特許制度の究極の目的とする「産業の発達に寄与」する根元が何かを問うたものであり、「制度としてのこれから」を模索する上で現在の日本の経済状況を含めた形での解決に大いに示唆を与えるものです。また、帖佐氏のお考えも発明者としての立場からみて、「制度としてのこれから」を模索する上で大変含蓄のある素晴らしいものです。ご協力頂いた方々に感謝するとともに何れにしても本号が多くの方々に「これから」を議論する一つの「たたき台」となることを願わずには居られません。(S.O)

編集委員会での初仕事が本号でした。いきなりのインタビュー企画で、紋谷先生のご自宅までお邪魔しました。紋谷先生のご自宅は、さながら知的財産権資料館+歴史民族博物館?で、「紋谷先生のご職業は何でしょうか?」という状況でした。「べらんめえ」調の上州弁を交えた屈託のないお話し振りでしたが、原稿にしてしまうと現場の雰囲気

伝えることができないのが少々残念です。紋谷氏のゼミ合宿にも声を掛けて頂きましたが、身体を鍛え直なければ遭難してしまいそうです。勉強の前提に、先ず体力・特に脚力を付けなければいけないことも学ばせてもらいました。(N.Y)

できない英語を何とかやっつけようと、9月中旬から1ヵ月間、英語の勉強(?)と称して海外(北米)に行き、更に11月後半には北米へ戻ってしまう予定で活動していたため、今月号のпатент編集作業では、色々な面で編集委員の皆様(特に、O氏、Y氏)にご迷惑をお掛けしてしまった気がしています。はじめてのпатент編集委員としての活動だったのに・・・とほほ。。次回もうちょっとできると思うので、どうか許して下さいね。

それにしても、патент誌の編集作業って本当に大変だなー、と実感しました。今まで「私の目指す弁理士像」と「ティーブレイク」ぐらいしか、まともに読んでいなかった(笑)ことを反省してしまいました。皆さんも、ぜひ関心をもってпатент誌を一読して下さいね。(E.K)

お詫びと訂正 2002年10月号「商標実務の研究」浅野勝美著 62頁右段下から10行目「(八)(六)及び(七)により分類することができない役務は、第四十二類に分類する。」は改正前のものであり、現在は「(八)助言・指導及び情報の提供は、その内容に対応する役務と同一の類に分類する。」となっています。ここにお詫びして訂正します。